

文字に出会い、簡単な単語や文を読めるようになることをめざした実践の紹介 学習ワークと指導事例

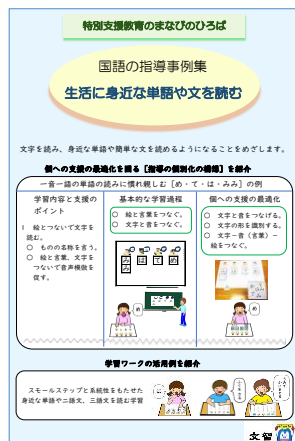
学習に遅れのある子どもたちが文字に出会い、簡単な単語や文を読めるようになることをめざした単語や文の学習ワークと指導事例を作成しました。電子書籍をご覧ください。

○ 特別支援教育のまなびのひろば 国語の指導事例集 生活に身近な単語や文を読む

ひとりでやれる
こくごワーク

【 たんごをよむⅠ 】

【 ぶんをよむⅠ 】



【 たんごをよむⅡ 】

【 ぶんをよむⅡ 】



個人内差や個人差の大きい学習段階の子どもたちに一人一人に支援の最適化をめざしました

文字を読めるようになるためには、発語、ものや行動の理解、聞き分け、文字の識別、音（言葉）や文字の記憶等の様々な能力が必要であり、習得の個人内差や子どもたちの個人差が大きいです。読みの学習には、一人一人に対応した支援の最適化が求められます。

個への支援の最適化を図るために指導の個別化を構想しました

本書は、次の二点を具体化し、一人一人の実態に応じた読みの指導に役立てたいと考えました。
一つには、一人一人に応じた単語や文を取り上げられるようにすること（取り上げる単語や文の紹介）
二つには、取り上げた単語や文の段階で、学習過程と指導のポイント、指導のポイントにそった教材を紹介すること（指導の個別化の構想）

単語と文の目次

はじめに

1	本書について	1
2	本書の構成	1
3	指導事例について	
(1)	単語を読む段階	1
①	指導の段階	
②	取り上げる語彙	
③	指導のポイント	
(2)	文を読む段階	2
①	指導の段階	
②	取り上げる言葉	
③	指導のポイント	
4	個への支援の最適化	
(1)	個への支援の最適化について	3
(2)	単語や文を読むことの学びの特性に対応する内容	3
(3)	個への支援の最適化をめざした授業実践	4
	〔学習指導場面の構想〕	
	こんなべんきょうがしたいな、こんな授業がしたいな	4
	〔読むことの学習で取り上げる単語や文〕	
	単語一覧	6
	文一覧	15
	〔指導の個別化の構想〕	
①	一音節の単語	21
②	二音節の単語	23
③	三音節の単語	26
④	濁音のある単語	30
⑤	拗音のある単語	33
⑥	二語文	36
⑦	三語文	40
	〔単語と文の学習段階の指導のポイント〕	43
	〔各段階（題材）の学習後の次の学習計画〕	46

5 単語や文の読みを習得する学習過程に対応した学習

ワーク（縮小で紹介）

〔単語〕

(1) 短音節の清音の単語 （一音節や同音の二音節）	48
(2) 短音節の清音の単語（二音節）	48
(3) 短音節の清音の単語（三音節）	50
(4) 濁音のある単語	51
(5) 半濁音のある単語	56
(6) 撥音のある単語	57
(7) 促音のある単語	58
(8) 長音のある単語	59
(9) 拗音のある単語	60
(10) 拗長音のある単語	61
(11) 拗促音のある単語	62

〔二・三語文〕

(1) 二語文「なにをどうする。」	64
(2) 三語文「だれがどうする。」	73
(3) 二・三語文「どこにどうする。」「どこでどうする。」	74
(4) 三語文「いつどうする。」	77
(5) 二・三語文「なにでどうする。」	78

6 教材の作製について

単語を読む教材の作り方

文を読む教材の作り方

※ 単語を読む教材台紙の見本 2枚

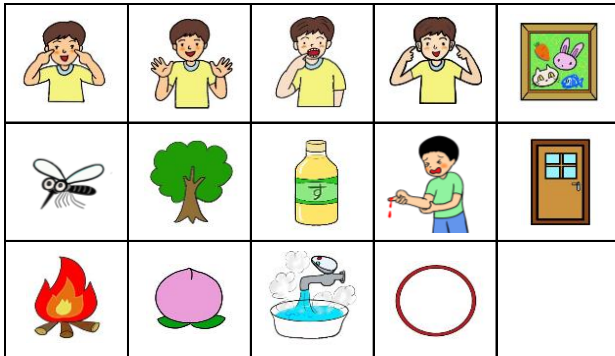
※ 文を読む教材台紙の見本 6枚

指導事例の紹介

個に応じて取り上げる単語や文

それぞれの単語や文の段階で、子どもに身近な単語や文、絵を掲載して活用できるようにしています。

【 1 短音節の清音の単語（一音節や同音の二音節の単語） 】



単語一覧

1	一音一語 同音一語	め、て、は、みみ、え、か、き、す、ち、と、ひ、もも、ゆ、わ
2	二音節の 単語	いす、いえ、いも、いか、あし、あみ、あめ、あり、いし、いと、いぬ、うし、うま、おに、かい、かお、かき、かさ、かに、かみ、かめ、くし、くち、くつ、くま、くり、こま、さら、さる、せみ、たい、たけ、たこ、たな、つき、とら、とり、なし、なす、ねこ、のり、はこ、はし、はた、はち、はな、はむ、ふえ、ふね、ふろ、ほん、むし、むね、もち、やま

文の絵一覧！

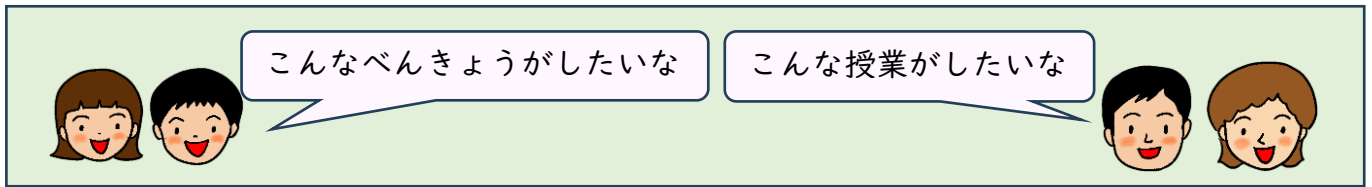
【 1 二語文「なにをどうする。」 】



(1)	てをあらう、はをみがく、とをあける、てをたく、きにのぼる、ひをけす、えをみる、てをふく、ゆをのむ、わをとぶ
(2)	くつをはく、ふくをきる、みずをのむ、かおをふく、ほんをよむ、くつをぬぐ、かみをきる、かみをとく、かみ（紙）をきる、ふえをふく、かさをさす、にわをはく、あなをほる、ゆかをふく、まどをふく、くつをおく
(3)	やさいをきる、かるたをとる、おかしをかう、くるまにのる、テレビをみる、くるまをおす、くるまをひく、ふとんにねる、たまごをわる、びあのをひく、らっぱをふく、りんごをとる、しいるをはる、たまごをやく

こんな学習をめざしました

題材の提示、教材の提示（子どもに学習の見通しと期待を抱かせる）
指導の構想（個への支援の最適化をめざす教師の授業プラン）



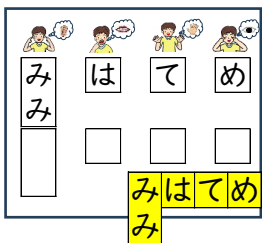
一音節の単語	二音節の単語	濁音のある単語	拗音のある単語	二語文

一人一人の教材（見通しをもたせるために初めから提示する） は各段階の教材本



具体的な教材の内容の例

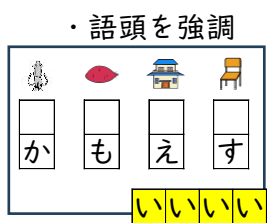
※ 文字ー音（言葉）ーもの等を結びつける活動を繰り返す教材



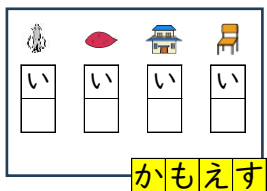
※ 単語を構成する教材



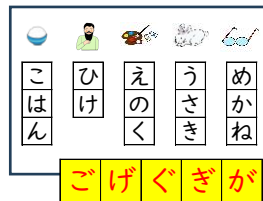
※ 字形や音（読み）を記憶する活動を繰り返す教材



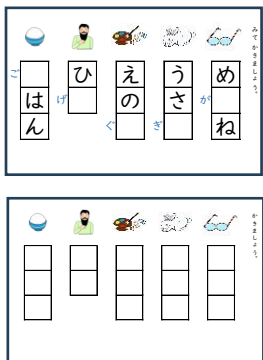
・語尾を強調



※ 間違いを修正する教材



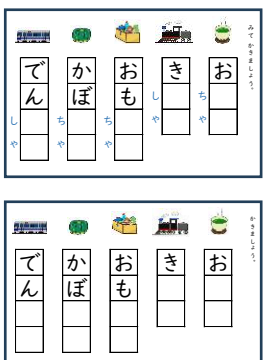
※ 書く力を活用する教材



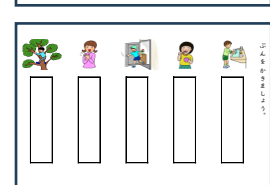
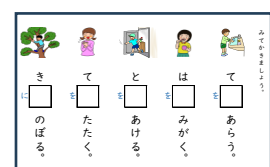
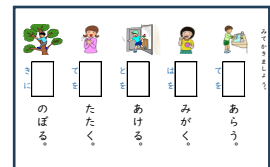
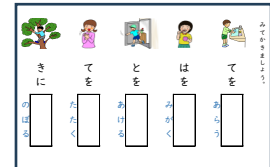
※ 間違いを修正する教材



※ 書く力を活用する教材



※ 書く力を活用する教材



学習の各段階で、学習内容と指導のポイント、スモールステップの基本の学習ワーク、支援の最適化の教材を図や写真等で掲載
指導の個別化の構想を活用して子どもの学びの特性にそった最適な学習過程を作成できます。

一音一語の単語の読みに慣れ親しむ

[め・て・は・みみ]

学習内容 と 支援のポイント

- 絵とつないで文字を読む。
 - ものの名称を言う。
 - 絵と言葉、文字をつないで音声模倣をする。

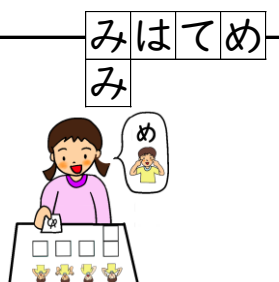
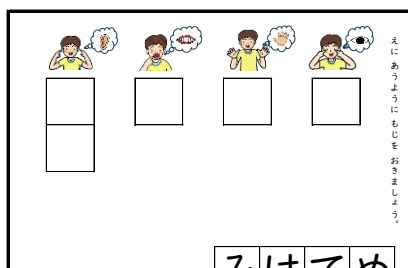
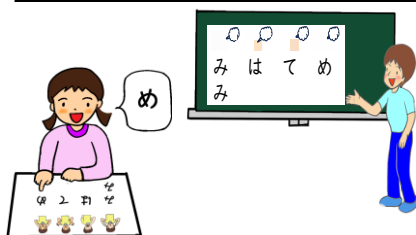
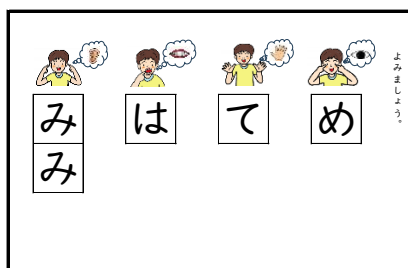
- 絵と文字に着目させ、音声模倣を促す。

- 文字と音、絵をつなぐ。
 - ものの名まえを言い、文字を読む。
 - 文字を読みながら、同じ文字を探して絵と合わせる。

- 絵と言葉（音）をつなぐ。
文字と音をつなぐ。

基本的な学習過程
スモールステップの学習

絵と言葉をつなぐ。
文字と音をつなぐ。

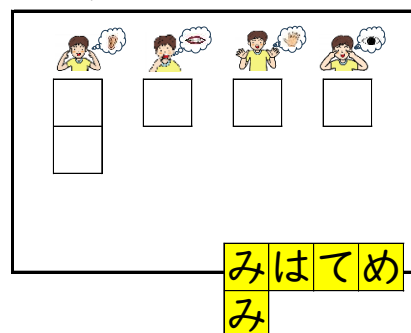


支援の最適化の教材
読みの繰り返しと書く活動

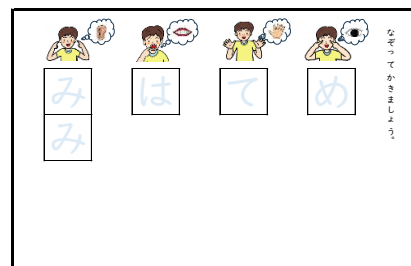
文字と音をつなげる。
文字の形を識別する。
文字－音（言葉）－絵をつなぐ。



◎ 繰り返しカードを読む



◎ 書いて読む学習ワーク

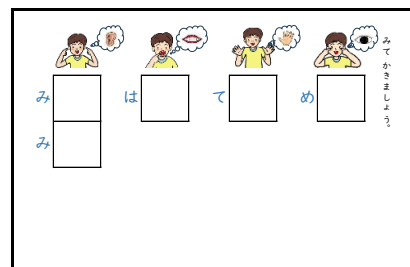
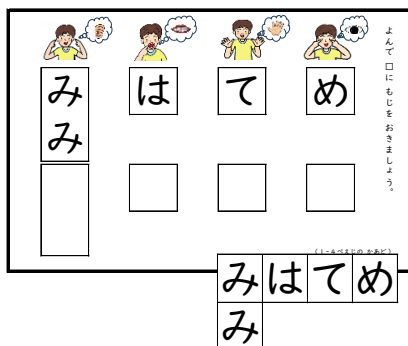


3 単語を読んで、絵に合わせる。

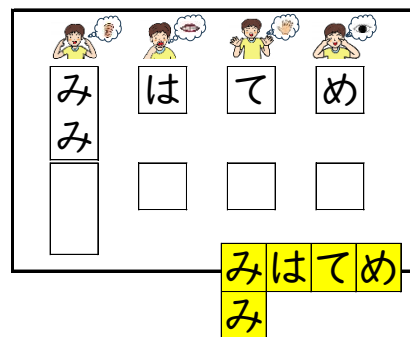
- 単語を読む。
- 単語を音声化した後、復唱し、ものの絵と合わせる。

- 絵と単語をつなげるために、繰り返し読ませ、読み取らせる。

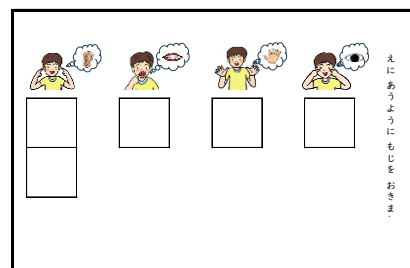
単語を読んでイメージする。
文字－音(言葉)－絵をつなぐ。



◎ 繰り返しカードを読む



◎ 書いて読む学習ワーク



読みの学習の基本的な学習過程

一音一語等の文字と音声、ものを結びつける

[め・て・は・みみ]

① 絵とつないで文字を読む。

② 字形を意識しながら文字を読んで、絵や文字を合わせる。

③ 文字を読んで絵に合うように置く。

み は て め
み

み は て め
み

④ 文字をなぞって書く。

⑤ 文字を視写する。

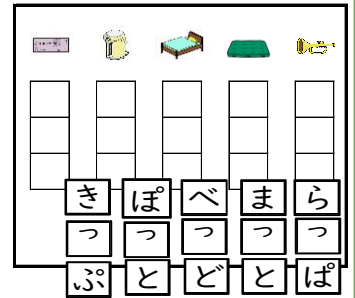
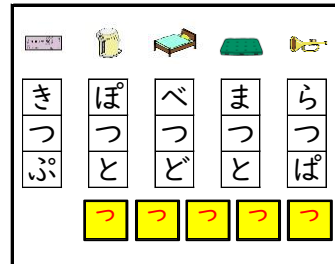
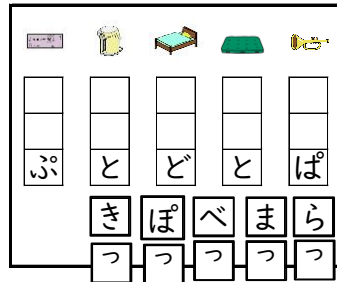
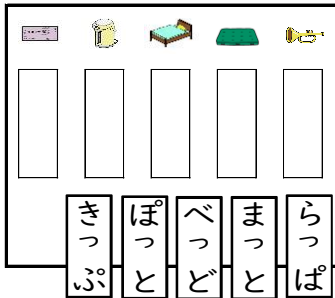
⑥ 絵を見て書く。

単語の指導のポイントの例 - 促音のある単語の読みと表記の仕方

促音の文字に着目させ、
繰り返し読む活動

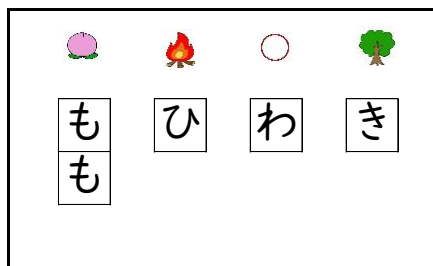
読みと表記の仕方を捉える活動

一文字ずつで単語を
つくる繰り返し活動

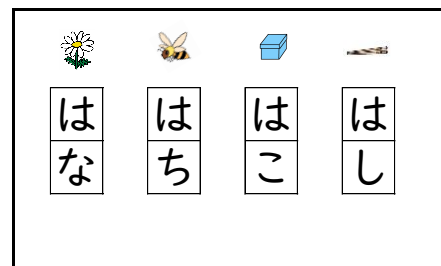


題材後に次の計画を作成する例 - 一音節の単語の学習後の計画

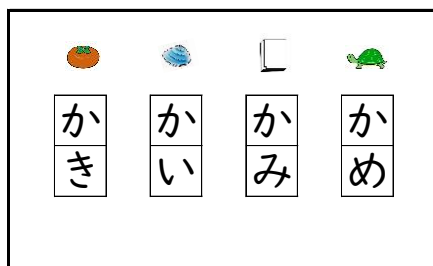
例1 文字と音が結びつきにくい
場合-文字を記憶する一音一
語を取り上げる。



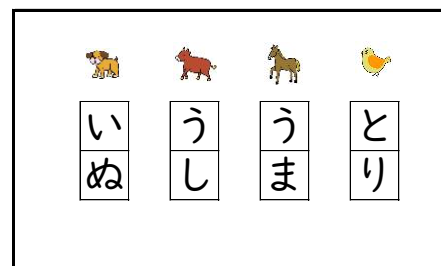
例2 文字と音を結びつけやすい
場合-語頭に既習の文字の二
音節の単語を取り上げる。



例3 定着度が不確かな場合-
既習の文字で二音節の単語
を取り上げる。



例4 定着度が高い場合-清音の
未習の文字で構成する単語を
取り上げる。



三音節の単語の読みに慣れ親しむ

[はさみ・のおと・たおる・ふくろ]

学習内容 と 支援のポイント

1 絵とつないで文字を読む。

- ものの名まえを言う。
- 絵と言葉、文字をつないで音声模倣をする。

- 絵と文字に着目させ、音声模倣を促す。

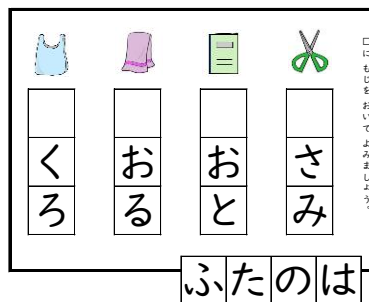
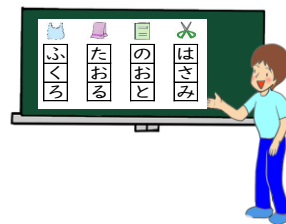
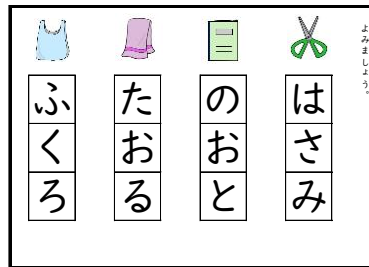
2 語頭を強調して読み、音節の語頭に文字を置く。

- ものの名まえを言い、文字を読む。
- ものの名まえを言い、語頭の文字を読む。
- 語頭の文字を識別する。

- 語頭の音や文字を強調して音声模倣を促す。

基本的な学習過程

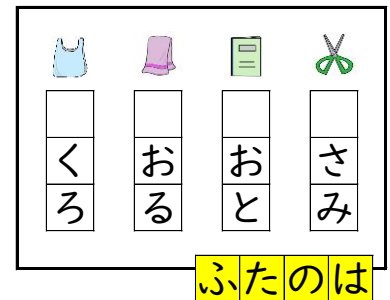
スモールステップの学習



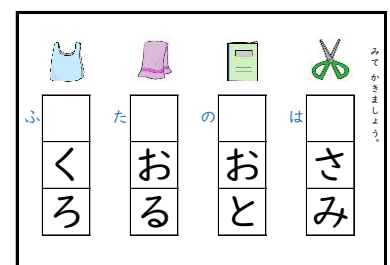
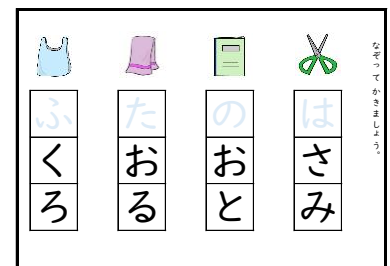
支援の最適化の教材

読みの繰り返しと書く活動

◎ 繰り返しカードを読む



◎ 書いて読む学習ワーク



3 語中を強調して読み、音節の語中に文字を置く。

- ものの名まえを言い、語中の文字を読む。
- 語中の文字を識別する。

○ 語中の音や文字を強調して音声模倣を促す。

◎ 繰り返しカードを読む

◎ 書いて読む学習ワーク

4 語尾を強調して読み、音節の語尾に文字を置く。

- ものの名まえを言い、語尾の文字を読む。
- 語尾の文字を識別する。

○ 語尾の音や文字を強調して音声模倣を促す。

◎ 繰り返しカードを読む

- 5 単語を読んで、絵に合わせ
る。
- 単語を読む。
 - 単語を音声化した後、復唱し、ものの絵と合わせる。

○ 繰り返し読ませて、
ものをイメージさせる。

				えに あう こと ばを おき まし よう。
ふ	た	の	は	
く	お	お	さ	
ろ	る	と	み	

◎ 書いて読む学習ワーク

				な ぞっ てか きま しよ う。
ふ	た	の	は	
く	お	お	さ	
ろ	る	と	み	

				み てか きま しよ う。
ふ	た	の	は	
く	お	お	さ	
ろ	る	と	み	

				か きま しよ う。
ふ	た	の	は	
く	お	お	さ	

◎ 繰り返しカードを読む

			
ふ	た	の	は
く	お	お	さ
ろ	る	と	み

◎ 書いて読む学習ワーク

				な ぞっ てか きま しよ う。
ふ	た	の	は	
く	お	お	さ	
ろ	る	と	み	

				み てか きま しよ う。
ふ	た	の	は	
く	お	お	さ	
ろ	る	と	み	

- 6 絵を見て音声化し、3文字
を取り上げて単語を構成する。
- ものの名まえを表す文字
を取り出す。
 - 音節の枠に文字を並べて
単語をつくる。

- 文字を取り出す単語
を記録させる。
- 音節を意識して発語
させる。









えを
みて
もじを
おきま
しょう

ふ	た	の	は
く	お	お	さ
ろ	ろ	と	み

◎ 繰り返しカードを読む









か
き
ま
し
よ
う

ふ	た	の	は
く	お	お	さ
ろ	ろ	と	み

◎ 書いて読む学習ワーク



ふ

く

ろ



た

お

る



の

お

と



は

さ

み

な
ぞ
っ
て
か
き
ま
し
よ
う



ふ

く

ろ



た

お

る



の

お

と



は

さ

み

み
て
か
き
ま
し
よ
う









か
き
ま
し
よ
う

読みの学習の基本的な学習過程

語頭・語中・語尾の文字に着目しながら、読める文字を増やす

[はさみ・のおと・たおる・ふくろ]

- ① 絵とつないで文字を読む。 ② 語頭を強調して読み、音節の語頭に置く。 ③ 語中を強調して読み、音節の語中に置く。



ふ	た	の	は
く	お	お	さ
ろ	る	と	み

よみましよう。



く	お	お	さ
ろ	る	と	み

□にもじをいれてよみましよう。

ふたのは



ふ	た	の	は
ろ	る	と	み

もじをよんでおきましよう。

くおおさ

- ④ 語尾を強調して読み、音節の語尾に置く。 ⑤ 単語カードを読んで、絵に合わせて置く。 ⑥ 音節に文字を置いて単語を構成する。



ふ	た	の	は
く	お	お	さ

もじをよんでおきましよう。

ろるとみ



えにあらうことばをおきましよう。

ふたのは
くおお
ろるとみ



えをみてもじをおきましよう。

ふたのは
くおお
ろるとみ

- ⑦ 文字をなぞって書く。 ⑧ 文字を視写する。 ⑨ 絵を見て書く。



ふ	た	の	は
く	お	お	さ
ろ	る	と	み

なぞってかきましよう。



ふ	た	の	は
く	お	お	さ
ろ	る	と	み

みてかきましよう。



かきましよう。

目的語と動作語、助詞に着目して二語文の読みに慣れ親しむ

学習内容 と 支援のポイント

- 二語文の音読をする。
 - 場面を言葉で表す。
 - 語句をまとまりで読んで音読をする。

- 範読を基に、音読をさせる。
- 音読を繰り返させて、二語文に慣れさせる。

- 二語文を読んで、絵と合わせる。

- 文を繰り返し読む。

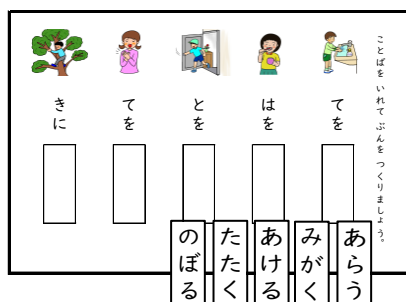
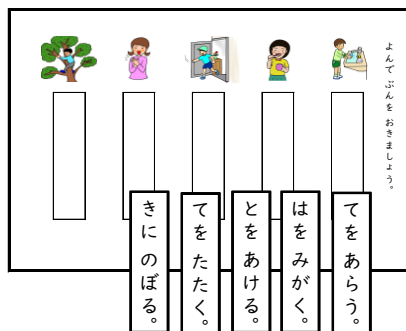
- 復唱させ、書かれていることをイメージさせる。

- 動作後を入れて、二語文をつくる。

- 絵を見て、目的語に続けて動作語を表現する。

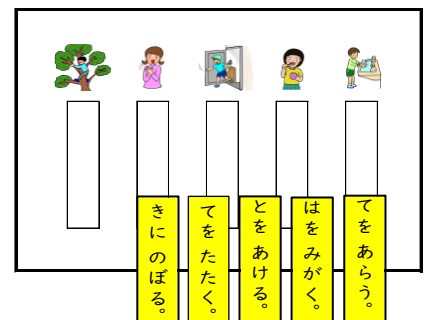
- 「てを」と促して、動作語を引き出す。

基本的な学習過程
スモールステップの学習

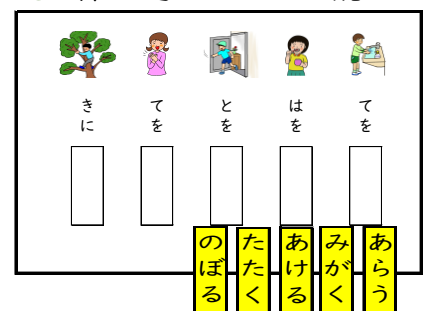


支援の最適化の教材
読みの繰り返しと書く活動

◎ 繰り返しカードを読む



◎ 繰り返しカードを読む



- 4 目的語を入れて、二語文をつくる。
- 絵を見て、目的語を表現する。

○ 「何をしていますか」と問いかけ、目的語の表現を引き出す。

					ことばをいれてぶんをつくりましょう。
のぼる。	たたく。	あける。	みがく。	あらう。	

きに てを とを はを てを

◎ 書いて読む学習ワーク

					みてかきましょう。
きに	てを	とを	はを	てを	
のぼる	たたく	あける	みがく	あらう	

					みてかきましょう。
きに	てを	とを	はを	てを	

◎ 繰り返しカードを読む

					
のぼる。	たたく。	あける。	みがく。	あらう。	

きに てを とを はを てを



◎ 書いて読む学習ワーク

					みてかきましょう。
きに	てを	とを	はを	てを	
のぼる。	たたく。	あける。	みがく。	あらう。	

					みてかきましょう。
のぼる。	たたく。	あける。	みがく。	あらう。	

5 助詞を入れて、二語文をつくる。

○ 語をつないで文をつくる。

○ 繰り返し読ませ、助詞を見つけさせ使い方に慣れさせる。

◎ 繰り返しカードを読む



◎ 書いて読む学習ワーク

6 語句を構成して、二語文をつくる。

○ 目的語と動作語を取り出して、二語文を構成する。

○ 絵で二語文の表現を促し、目的語と動作語を取り出させる。

◎ 繰り返しカードを読む

◎ 書いて読む学習ワーク